

名古屋大学における教職課程の実施に関する自己点検・評価結果報告書（令和6年度）

評価項目		評価の観点	達成度 (○△×)	自己点検・評価結果	根拠資料		
1. 教育理念・学修目標	1-1	教員の養成の目標及び当該目標を達成するための策定状況	○	本学ホームページの「教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること」で設定されている。	教育の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること		
	1-2	教員養成の目標及び当該目標を達成するための計画の策定プロセス	○	採用権者の意見考慮の一環として、愛知教員養成コンソーシアム連絡協議会に出席し、愛知県教育委員会や名古屋市教育委員会と情報交換を行っている。また、学生の意見考慮の一環として、授業評価アンケートを通じて意見集約を行っている。	・愛知教員養成コンソーシアム連絡協議会資料 ・愛知教員養成コンソーシアム連絡協議会規約 ・授業評価アンケート		
	1-3	教員養成の目標及び当該目標を達成するための計画の見直しの状況	○	適宜関係委員会において適切な見直しが行われている。			
2. 授業科目・教職課程の編成及び実施	2-1	複数の教職課程を通じた授業科目の共通開設など全学的な教育課程の編成状況	○	●法令及び教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画と対応に必要な授業科目が開設され適切な役割分担が図られているか ●学生が体系的かつ段階的に教職課程の履修を進められるカリキュラム編成となっているか	○	教育課程の編成状況について、教職課程認定基準に定められている範囲内の状況であることを各学部において確認した。また、カリキュラムの見直しなどに応じて、変更届を提出している。	・教職課程認定基準 ・R6年度課程認定変更届（学部、大学院）
	2-2	教職課程の授業科目の実施に必要な施設・設備の整備状況	○	●ICT環境、模擬授業用の教室、関連する図書など、教職課程の授業科目の実施に必要な施設・設備が整備されているか	○	必要なICT環境、図書室等が整備されている。	内部質保証自己点検・評価-大学概要（名古屋大学）
	2-3	シラバスの作成状況	○	●教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画と授業科目との関係、授業科目の目的と到達目標、内容と方法、計画、成績評価基準、課外学修の内容等がシラバスに明確に記載されているか ●上記の項目の記載について、組織的に点検する体制ができていますか	○	教職科目について、本学のシラバス作成要領に沿ってシラバスが作成されていることを確認した。	名古屋大学教職科目シラバス作成要領
	2-4	個々の授業科目の到達目標の設定状況	○	●教職に関わる個々の授業科目の目的や内容が明確に設定されているか、またその目的や内容が免許教科を担当する教員として求められる教科専門性を確保することができるものとなっているか	○	個々の授業科目のシラバスに到達目標が記載され、求められる教科専門性を確保することが出来ている。	授業科目のシラバス
	2-5	個々の授業科目の見直しの状況	○	●学修成果や自己点検・評価の結果等を踏まえて充実が図られ、授業科目の適切な見直しが行われているか	○	授業評価アンケートにより、授業科目の見直しが行われている。	授業評価アンケート結果
	2-6	教職実践演習及び教育実習等の実施状況	○	●教職課程において特に重要な役割を果たす教職実践演習、教育実習は、事前指導・事後指導を含め、大学の主体的な関与の下で適切に行われているか	○	本学の教育実習は、大学全体の教務に関する事項を所掌する教育分科会の下に置かれた教職課程委員会が主な役割を担っており、教職課程委員会において、教育実習（事前・事後指導含む）の実施について協議、決定のうえ、各学部・研究科及び関係機関との連絡調整を行っている。教職実践演習は、大学全体の教職に関する事務を担当する部署である教育企画課と、開講部局である教育学部が協力して、計画、実施している。	・名古屋大学教職課程委員会規程 ・教職実践演習スケジュール
3. 学修成果の把握・可視化の状況	3-1	成績評価に関する共通理解の構築	○	●同一名称の授業科目を複数の教員が分担して開講している場合に成績評価の標準化が計られているか（該当する科目がある場合のみ）	○	シラバスに各授業科目の成績評価の基準を示すとともに、成績分布状況の確認、点検を行う等により、成績評価の標準化が計られている。	成績評価とGPA制度 授業科目のシラバス
	3-2	成績評価の状況	○	●各授業科目の到達目標に照らしてできるだけ定量的又は定性的に達成水準を明らかにし、厳格に点数・評語に反映することができているか ●構成で透明な成績評価という観点から達成水準を測定する手法やその配点基準があらかじめ明確になっているか	○	シラバスに各授業科目の到達目標や成績評価の基準を明確に示し、厳格に成績評価を行っている。	同上
4. 教職員組織の状況	4-1	教員の配置の状況	○	●教職課程認定基準（平成13年7月19日教員養成部会決定）で定められた必要専任教員数を充足しているか	○	充足していることを、課程認定を有する各学部・研究科で確認した。	法令上必要な教職専任教員数
	4-2	職員の配置状況	○	●教職課程を適切に実施するため、事務組織を設けているか	○	教育企画課にて、教職課程に関する事務全般を所掌している。また、課程認定を有する学部・研究科においても教職担当者を配置しており、教育企画課と連携・協力を図っている。	
	4-4	授業評価アンケートの実施状況	○	●個々の授業科目の担当者が自らの授業を省察できるように、効果的な授業評価アンケートの作成・実施が行えているか	○	教職科目の独自設問も設けて効果的な授業評価アンケートを実施している。結果は授業担当者が確認し、授業内容の改善に繋げている。	教職科目授業アンケート実施要項

評価項目		評価の観点	達成度 (○△×)	自己点検・評価結果	根拠資料
5. 情報公表の状況	5-1	学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第172条の2のうち関連部分、教育職員免許法施行規則第22条の6に定められた情報公表の状況	○	すべて本学ホームページで適切に公表している。	教員の養成の状況についての情報の公表
6. 教職指導（学生の受け入れ、学生支援）の状況	6-1	教職課程を履修する学生の確保に向けた取組の状況	○	本学ホームページやLMS、各学部・研究科のホームページや学生便覧等で、教職課程に関する情報を提供している。	・教職課程の手引 名古屋大学教職課程について
	6-2	学生に対する履修指導の実施状況	○	教育企画課や課程認定を有する各学部・研究科の学生窓口で、状況に応じて個別に履修指導を行っている。 履修カルテについては、本学の申し合わせに沿って履修指導時に活用されており、教職実践演習の授業の一環として履修カルテを用いて自身の振り返りや課題把握を行う機会を設けている。	名古屋大学教職課程履修カルテについて
	6-3	学生に対する進路指導の実施状況	○	LMS、各学部・研究科ホームページ、学生便覧を通して教職課程に関する情報を提供する等により、適切にキャリア支援を実施している。	
7. 関係機関等との連携の状況	7-1	教育委員会等との連携	○	評価項目1-2で記載したとおり、愛知教員養成コンソーシアム連絡協議会の構成員として会議に出席し、教育委員会や近隣の大学と連携・交流を図っている。また、教育委員会が開催する教育実習生受入に関する打合せ会への出席を通じ、大学外の関係機関との連絡調整、意見聴取等を行い、学生への指導の充実につなげている。	・愛知教員養成コンソーシアム連絡協議会資料 ・教育委員会主催の打合せ会資料
	7-2	教育実習等を実施する学校との連携・協力の状況	○	教育実習において、名古屋大学教育学部附属中学校・高等学校、愛知県教育委員会管轄の県内県立高等学校及び名古屋市立を除く県内の公立中学校を、教育実習協力校として承諾を得ており、適切に連携・協力を図り、実習の適切な実施に繋げている。	課程認定申請書「教育実習協力校」
	7-3	学外の多様な人材の活用状況	○	事前・事後指導では、名古屋大学教育学部附属学校の現役教員に講演を依頼しており、「教職実践演習」の授業のなかで退職教員やスクールカウンセラーに非常勤講師を依頼し、教職を目指す学生に現場の声を聞かせるようにしている。	・事前・事後指導スケジュール表 ・教職実践演習スケジュール表